

一ノ割地域を 安全で暮らしやすく



木下三枝子
議員

一ノ割地域の住民が求める声として、駅西口改札の請願採択後の検討状況と東口ロータリーの活用について、また、安全な通行の確保のための駅前市道の整備方針と維持管理について市の認識を伺います。

次に、これまでも要望した一ノ割公園付近交差点の信号機設置については、交通量や通学路要件が基準を満たさず警察判断として設置は困難とされました。しかし、交通事故の発生や危険な実態を踏まえて信号機に変わる実効性ある安全対策が必要であり、速度抑制や横断する歩行者の視認性向上など、安全対策の早急な実施をお願いしたい。

○都市整備部次長

駅周辺における利便性の向上を図るには西口に改札を設置することが効果的であると考えています。東口のロータリーを含み、今後も駅周辺地域については、社会環境の変

化を見極め、検討をしていきたいと考えています。

○建設部長

開発などの際に道路拡幅などの協力をいただき、安全性の確保に取り組んでいます。緊急を要する小規模な修繕には、職員が現地対応をしており、今後も地域の方々のご意見を伺いながら、道路の安全性の確保に努めます。

○市民生活部長

今後は、交差点付近にスピード抑制看板の設置を予定しています。

このほか

○気候危機対策の強化を

民間業務委託の 適正化について



並木 敏恵
議員

市内の四つの公共施設の清掃を委託している「クリンクル」について、業務が適正に行われているか、伺います。

働いている方たちから、給与が払われない、掃除機は、家庭用の一台しかない、洗剤やトイレトイレットペーパーが不足で、一部のトイレは、使用禁

止してもらったなどの訴えが寄せられています。

適切に業務が遂行できていないとは思えません。契約不履行で、契約を解除すべきと思いますが、市の対応を伺います。

○総務部長

当該受注者に委託している公共施設において、契約内容に基づき、適正な履行が確保されるよう、指導・監督を行っています。業務の一部に不適切な履行が確認された事項については、必要は正措置を講じています。契約当初は仕様書どおりに適切に履行されていましたが、その後、業務の一部に不適切な履行が確認されたため、厳重注意し、是正の指導を行いました。また、改善が見られない場合は、委託料の減額措置を講ずる旨の通知をしています。

本件に限らず指示や催告に従わない場合には、契約条項に基づき、契約解除などを含め、適宜検討していくものです。

このほか

○小中学校の女子トイレに生理用品の設置を

○ゆつく武里は子育て支援と高齢者が集える憩いの場に

SDGs 未来都市について



鬼丸 裕史
議員

SDGs 未来都市は、内閣府によって選定されるもので、本市は令和2年7月に選定され、現在は第2期SDGs 未来都市計画の期間中です。そこで、以下お伺いします。

- ① 武里団地での取り組み内容について。
- ② 現計画の進捗状況。
- ③ 第3期SDGs 未来都市計画について。

○総合政策部長

① 第2期末未来都市計画に位置付けたフレイル予防関連事業を展開しており、高齢者が住み慣れた地域で活躍しながら暮らし続けられるよう取り組みを推進しているところで

② 計画期間中に進める自治体SDGsの推進に資する取り組みにおける令和6年度の達成度について、主なものとして、人が行き交うにぎわいの創出の指標が、達成度110.8%。また、環境に配慮し、自然と共生する暮らしの指標

が、達成度208%です。その他の指標も含めて、全体としておおむね順調に進んでいるところ

③ 第3期SDGs 未来都市計画は現行の計画から、春日部市ゼロカーボンシティ推進本部を設置したことやPPA方式による公共施設への太陽光発電設備等の設置など、脱炭素の新たな取り組み内容を記載したところです。

このほか

○アイル・アリーナ ウイング・ハット春日部（春日部市総合体育館）周辺整備について



SDGs 未来都市かすかべ

**ま
客
引
る
置
き
で
が
監
視
員
急
務
街**



酒谷 和秀
議員



夜の春日部駅西口交差点付近は、まるで売春街のような異様な雰囲気になっています。アジア系の外国人女性たちが、ここを通る男性に手当たり次第、いやらしさを前面に出したマッサージュの客引きを行っています。

この付近では過去に売春や違法風俗の営業をしたとして中国籍の女性が逮捕される事件が発生しています。驚くべきことに、このような状況は、もう20年以上も続いています。

しかし、本市はこの状況をずっと放置したままです。

他の自治体は繁華街に客引き監視員を設置して街の治安を守っています。

なぜ本市は、この問題を放置してきたのですか。

○市民生活部長

執拗な客引き行為については、市民の皆さまに不快な思いを抱かせてしまう場合もある

るかと考えています。

これまでの取り組みとして、市や春日部警察署による夜間パトロールや警察による取り締まりなど、必要に応じて対応を行ってきました。

また、監視員による客引きパトロールを業務委託により、昨年11月18日から12月23日までの間で31日実施したところです。



客引き監視員（イメージ）

**中
心
市
街
地
ま
ち
づ
く
り
に
つ
い
て**



伊藤 一洋
議員



本市の中心市街地は、歴史文化、商業、交通の拠点であり、本市の「まちの顔」として市全体の魅力や活力を左右する重要なエリアとなっています。

現在、本市では駅周辺の整備が進められていますが、単なるハード整備にとどまらず、エリア全体の価値を高める総合的なまちづくりが必要と考えます。

そこで、本市の中心市街地におけるまちづくりの現状、課題、また解決策について伺います。

○都市整備部参事

春日部駅周辺は、鉄道が市街地を分断し、開かずの踏切などにより慢性的な渋滞が発生するなど、中心市街地の発展に支障が生じている状況です。

また、大型店の撤退や空き店舗の増加、低未利用地の拡大など、活力の低下も課題で

あると認識しています。

こうした課題に対し、現在、鉄道の高架化による踏切の除却と関連する都市基盤整備を進め、東西市街地の一体化と交通の円滑化に取り組んでいるところ です。

さらに、今後は、これら物理的な基盤整備に加え、エリアプラットフォームを主体とした官民連携のまちづくりを推進し、魅力とにぎわいにあふれた中心市街地の形成に取り組んでいきたいと考えています。

このほか

○部活動の地域展開について
移動手段は人権、春バス庄和南線の復活を



大野とし子
議員



春バス第四次運行で庄和南線は廃止されました。理由は乗降数が少なく、公費負担率が高いので、持続可能な運行にするためとのこと。庄和南線の乗降数は1日平均58人で、公費負担率は87%で、市の基準85%より少し高い状況でした。現在運行している

庄和地区ルートは日曜日を除く毎日運行、往復10便の運行で一日平均乗降数134人、公費負担率は73%です。

庄和地区ルートの乗降数が伸びたのは、利便性を向上させたからだと考えます。庄和南線は、コンサルタントも運行を工夫し、継続を提案しました。利便性を向上させ、庄和南線を継続するという検討はなかったのでしょうか。また、市は公費負担率が高いことを理由にあげますが、国や県も多くの補助メニューを提案しています。市の役割は、国の財源なども活用し、移動手段を確保することだと考えますが、市の考えを伺います。

○都市整備部長

庄和地区南ルートについては、庁内および地域公共交通活性化協議会における検討の結果、廃止と判断されたものです。春バスの持続可能な運営には、公費負担の増大を避けつつ、効率的なルートやダイヤ設定を通じて利便性を向上させ、利用者の増加を図る取り組みが不可欠と考えています。

このほか

○食べることは生きること、庄和地域も自校給食に

上野長宮線の 開通について



河井 美久
議員

上野長宮線は、令和8年1月24日に、私たちの悲願でもある、春日部区間、約430メートルが完成し、さいたま市岩槻区と本市をつなぐ、全長、約4・1キロメートルが全線開通しました。このたびは、昭和41年の都市計画決定以来、地元の皆さまのご理解とご協力、そして、埼玉県や市執行部をはじめ、我々の一丸となった、これまでの取り組みが、ようやく実を結んだものであると感じています。

そこで、上野長宮線の事業概要と経緯について、お伺いします。

○建設部長

上野長宮線は、主要地方道野田岩槻線のバイパス道路として、円滑な都市交通の処理と市街地の健全な発展を目的に、旧岩槻市の古ヶ場を起点として、本市増戸地内の国道16号を終点とする、延長約4

110メートル、幅員18メートルの道路です。

埼玉県により平成5年度に事業が開始され、平成23年12月にさいたま市区間の道路整備が完了しました。

本市側については、平成25年に延長約430メートルの路線測量、平成27年度に埼玉県警察との交通協議が実施されました。

平成30年度には都市計画事業の認可の取得をし、その後は、令和元年度より用地取得に着手し、令和3年度から工事が開始され、本年1月24日に開通したものです。

クレヨンしんちゃんについて



阿部 雅一
議員

本市は「クレヨンしんちゃん」を市の魅力として、これまでもさまざまな取り組みを進めてきました。

本年度は春日部市市政施行20周年という節目の年であり「クレヨンしんちゃん」に積極的に活躍してもらったさまざまな事業の展開に目を見張るものがあつたと感じたところ

るものがあつたと感じたところ

こうした取り組みは、本市の認知度向上やにぎわい創出、さらには交流人口の拡大に相当貢献していることと存じますが、改めて今年度の「クレヨンしんちゃん」に活躍してもらった事業の内容について伺います。

4月に開催した春日部藤まつりでは、クレヨンしんちゃん野原一家がパレードに参加し、ステージ出演を行いました。

○総合政策部長

7月に正和工業にじいろホール大ホールで実施した、子ども音楽祭では、野原しんのすけくんが出演し、市内のオーケストラの演奏に合わせて、子どもたちが一緒にダンスを踊るなど、夏休みの思い出の場となったものと思います。

8月には、市役所ひだまりホールで、クレヨンしんちゃん絵がぎイラスト展示を1週間開催し、連日市内外から多くの方々に来場いただきました。

このほか
○北春日部周辺のまちづくりについて

○ふるさと納税について

交通空白地域への 対応について



中村 貴彰
議員

市内にはバスが通らない地域や、バス停まで遠く、買い物や通院のたびに長い道のりを歩かざるを得ない高齢者がいます。タクシーも来ない日があり、来ても治療費より高く利用できない方もいます。

ある方は、スーパードライに耐え、涙をこらえて自宅を目指すという実態があります。春タクの支援もありますが、予約がとりにくく、運転手不足も課題です。生活の自由や安全に直結するこの問題は、交通にとどまらず、福祉や医療、財政など、多部署の連携が不可欠です。

困っている方の声を最優先に、行政が一体となって行動する事が、安心と尊厳を守る第一歩です。このままでは、移動できないことが生活の制約となり、外出を諦めてしまう方が増えてしまいます。

かすかべ未来研究所では、

今後、交通空白地域への対応を研究テーマとして取り上げる考えはあるか伺います。

○総合政策部長

令和8年度の研究テーマは、令和7年度に引き続き、武里団地における課題の研究について取り組みを進めていきます。令和9年度以降については、その時点における課題を把握し、研究テーマを決めていく予定です。

このほか

○農業振興について

子育て世帯を支える地域生活支援と相談体制の充実について



市内の交通空白地域

高齢者の生きがいづくりと
介護保険制度について



山崎 進
議員



少子高齢化が進んでいる現在、本市の高齢化率は令和22年には36・7%が予想されています。高齢者世帯、単身高齢者世帯が増えて、介護保険制度の利用者も増えてくることから、さらなる対策が必要だと考えます。

そこで、以下伺います。
①介護保険制度が始まった背景や、目的について。②介護老人保健施設は3カ月ごとに移らなければいけないのか。③高齢者が地域社会において孤立防止や生きがいの創出につながる居場所とこの創出にどのような場所があるのか。
○健康保険部長
①平均寿命の伸長、核家族化の進行などを背景に、介護を家族のみの負担とするのではなく、社会全体で支え合う仕組みとして創設されました。②一般的に3カ月から6カ月の間に判定会議が開催され、総合的に退所の可否を判断し

ています。そのため、3カ月という説明がされることがありますが、退所はあくまで個別の状況に応じて検討されるものです。

○福祉部長

③健康づくりや生きがいづくりの活動を行う、いきいきクラブ、高齢者の方が憩い、楽しめる居場所としての高齢者福祉施設、これらのほかにも春日部市社会福祉協議会において、いきいきサロンなど地域のつながりを生かした居場所づくりを推進しています。

このほか

○地域コミュニティについて



(イメージ)

更なる充実した
教育環境を目指して
(教育は未来への投資)



石川 友和
議員



①学校において公費と私費の区分の明文化について、進捗を伺います。

②さいたま市では、学校に対する寄付(消耗品含む)は全てホームページ上に公開されている。本市も歯止めの意味も含めて公表するべきと考えますが、見解を伺います。

③国からの支援で小学校給食費無償化に係る市としての持ち出しは約9000万円抑えられるということですが、その予算で教育に関するソフト面(おあしすルーム)の予算額を伺います。

④学校備品に該当するようなものをPTAからの卒業記念品として購入するのはいかがなものかと思いますが、市の認識を伺います。

○学務指導担当部長

①現在、教育委員会では公費と私費の負担区分を明確にしたガイドラインの策定を進めています。

②本市では、PTAなどの団体からの寄付などは、公会計とは異なる私会計であると捉えており、現状は、市や教育委員会がその詳細を一律に公表する対象にはならないものと認識しています。

③3校分の支援員の報酬で約170万円です。

○学校教育部長

④よりよい教育環境の充実を図るためであれば、学校と関係団体との間で十分に理解を共有した上で実施することが前提となりますが、私費による物品などの受け入れを妨げるものではありません。

中学を含めた
学校給食費の無償化を



古沢 耕作
議員



長引く物価高騰を受け、市は国からの交付金を活用して、令和8年度の小学校の給食費を一年間無償、そして、中学校は半年間無償化することを決めました。

私は市の自主財源により、中学校もあと半年分(正確には5カ月分)を支援し、学校

給食の一年間、完全無償化を実施するべきと考えます。それを踏まえて、以下伺います。

①中学校の給食費のあと半年分を市が独自に支援し一年間の無償化を実施する場合、費用はどれくらい掛かりますか。
②令和8年度の市税収入の見込みを、市は昨年比で約16億7千万増えると予想しており、また、市の貯金である財政調整基金も、昨年比で約8億円増える見込みです。

もともと、学校給食の無償化は、市長の公約でもあります。物価高で苦しむ子育て世帯を応援するため、中学校も含めた給食無償化の実施について、市長に伺います。

○学務指導担当部長

①約1億800万円が追加で必要な額となります。

○市長

②本来、給食費の支援は、地域間格差が生じないように、国が実施すべきと考えます。議員ご提案の中学校の5カ月分の無償化については、物価高騰の状況や、有利な財源の確保などの状況に基づき、その必要性を検討していきます。

このほか

○こども誰でも通園制度について